

# トップメッセージ

## 2020年度半期決算の概況等について報告いたします。



新型コロナウイルス感染症の拡大によりさまざまな影響を受けているみなさまに対して、心からお見舞い申し上げますとともに、日々対応にあたられている医療従事者をはじめ、物流・小売関係者、そして生産者のみなさまに心から敬意を表し、感謝申し上げます。

2020年度は、「中期経営計画(2019～23年度)」で掲げた「農林水産業と食と地域のくらしを支えるリーディングバンク」を目指す姿とすることを不変としつつ、より厳しい環境下においても目標を必達すべく業務運営を着実に進めております。

2020年度半期の金融市場については、各国の緩和的な金融政策を背景に、短期金利が低下しました。株式については、各国の財政政策等に下支えされ、2020年3月初旬からのグローバルなリスクオフによる株価の大幅下落から反転しました。為替相場は、対ドルを中心に緩やかに円高が進行しました。このような環境において、収益を安定的に積み上げるべく財務運営を行った結果、2020年度半期において、869億円の連結経常利益を確保するとともに、連結自己資本比率についても普通出資等Tier 1比率20.55%、Tier 1比率23.85%、総自己資本比率23.85%と高い水準を維持することができました。国内におけるマイナス金利政策の長期化等、グロー

バルな低金利環境が継続するなか、今後の経済・金融環境は引き続き厳しいものが想定されますが、適切な財務運営を目指してまいります。

今後の業務運営といたしましては、「中期経営計画(2019～23年度)」の基本方針のもと、「食農ビジネス」「リテールビジネス」「投資ビジネス」に加え、各ビジネスを支える「コーポレート」の体制により、JAバンク中期戦略、JFマリンバンク中期戦略、森林系統運動方針などと一体になって、系統グループと連携して取り組んでまいります。また、JAグループの一員として、不断の自己改革にも着実に取り組んでまいります。さらに、本年度は当金庫グループの「サステナブル経営元年」と位置付けており、役職員一人ひとりの日々の業務に、われわれならではのサステナビリティの視点を根付かせ、着実に実践してまいります。

JAバンク、JFマリンバンク、JForestグループおよび当金庫といたしましては、今後とも、協同組合ならではの役割・機能を発揮しつつ、みなさまから安心・信頼される金融機関・組織を目指していくとともに、農林水産業・農山漁村の振興に貢献する取組みを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染拡大による実体経済への影響が顕在化し始めており、いまだ収束時期が見通せない状況が継続しているなか、当金庫としては農林水産業・地域を基盤とする金融機関の使命として、影響を受けられる農林水産業に関連する各種ステークホルダーのみなさまに対して最大限のサポートを実施してまいります。

最後になりますが、JAバンク、JFマリンバンク、JForestグループおよび当金庫を、これまで以上にお引き立て賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年1月

農林中央金庫  
経営管理委員会会長

農林中央金庫  
代表理事理事長

中家 徹 奥 和登

# 2020年度半期決算の概況

## ■ 損益の概況

当半期の連結経常利益は、前年同期比8億円増益の869億円、親会社株主に帰属する連結半期純利益は前年同期比26億円減益の655億円となりました。

また、当金庫単体の経常利益は前年同期比74億円増益の918億円、半期純利益は前年同期比37億円増益の724億円となりました。

また、当金庫単体の総資産は前年度末比1兆1,344億円増加の104兆5,380億円となりました。主要な勘定残高については、資産の部では貸出金が20兆8,372億円、有価証券が50兆5,458億円となりました。負債の部では預金が65兆4,155億円となり、農林債が5,345億円となりました。

## ■ 残高の概況

当半期末の連結総資産は106兆7,464億円と前年度末に比べて1兆2,644億円増加しました。連結純資産は前年度末比7,714億円増加の8兆331億円となりました。

## ■ 自己資本比率

当半期末の国際統一基準による連結自己資本比率は、普通出資等Tier 1比率が20.55%、Tier 1比率が23.85%、総自己資本比率が23.85%となりました。また、単体自己資本比率は、普通出資等Tier 1比率が20.64%、Tier 1比率が24.01%、総自己資本比率が24.01%となりました。

## 主要な経営指標の推移

〈連結〉

(単位:億円)

	2018年度半期	2018年度	2019年度半期	2019年度	2020年度半期
連結経常収益	9,110	17,321	8,308	15,445	5,922
連結経常利益	1,172	1,245	860	1,229	869
親会社株主に帰属する連結半期(当年度)純利益	858	1,035	681	920	655
連結半期(当年度)包括利益	△ 83	2,385	3,979	△ 1,111	8,474
連結純資産額	66,666	74,732	77,707	72,616	80,331
連結総資産額	1,080,411	1,059,539	1,083,982	1,054,820	1,067,464
連結自己資本比率(国際統一基準)					
普通出資等Tier 1比率(%)	16.62	16.59	18.09	19.49	20.55
Tier 1比率(%)	16.63	19.65	21.19	23.02	23.85
総自己資本比率(%)	20.60	19.65	21.19	23.02	23.85

注 「連結自己資本比率(国際統一基準)」は、「農林中央金庫がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農林水産省告示第4号)に基づき算出しています。

〈単体〉

(単位:億円)

	2018年度半期	2018年度	2019年度半期	2019年度	2020年度半期
経常収益	9,022	17,091	8,205	15,191	5,853
経常利益	1,158	1,174	844	1,165	918
半期(当年度)純利益	865	1,006	687	894	724
出資総額	34,804	40,401	40,401	40,401	40,401
出資総口数(千口)	34,610,679	40,207,779	40,207,779	40,207,779	40,207,779
純資産額	65,766	73,818	76,834	71,748	79,531
総資産額	1,064,080	1,041,768	1,064,797	1,034,035	1,045,380
預金残高	670,741	668,215	661,396	656,560	654,155
農林債残高	15,155	12,622	10,152	7,914	5,345
貸出金残高	138,211	184,380	189,899	198,288	208,372
有価証券残高	540,034	557,511	555,473	546,943	505,458
職員数(人)	3,704	3,615	3,676	3,588	3,622
単体自己資本比率(国際統一基準)					
普通出資等Tier 1比率(%)	16.78	16.73	18.27	19.56	20.64
Tier 1比率(%)	16.81	19.86	21.45	23.15	24.01
総自己資本比率(%)	20.84	19.86	21.45	23.15	24.01

注1 預金残高には譲渡性預金を含みません。

注2 「単体自己資本比率(国際統一基準)」は、「農林中央金庫がその経営の健全性を判断するための基準」(平成18年金融庁・農林水産省告示第4号)に基づき算出しています。

# 地方創生・地域活性化に資する取組み

## ● 次世代の農業経営者の育成

当金庫は、(一社)アグリフューチャー日本のメインスポンサーとして、同団体が運営する日本農業経営大学校による次世代の農業経営者の育成を後押ししています。同校では、2013年の開校以来86名が卒業し、全国で就農しています。現在は第7・8期生が農林中央金庫品川研修センターにある校舎で切磋琢磨しながら勉学に励んでいます。

## ● 日本農業法人協会との連携強化

2014年2月、全国の先駆的な農業法人を擁する(公社)日本農業法人協会と、包括的なパートナーシップ協定を締結しました。当金庫のネットワークを活用し、同協会の会員が抱える課題の解決に向けて、取引先の開拓、農畜産物の輸出など、幅広い支援に取り組んでいます。

## ● 農林水産業みらい基金

当金庫は、農林水産業者・事業体の主体的な取組みを後押しするため、2014年に「農林水産業みらい基金」を設立し、200億円を拠出しました。これまで累計45件に対して助成を行っています。

## ● 食農教材本贈呈の取組み

地域の発展に向け、農業や食料をテーマとした小学5年生向け教材本の贈呈などを支援しています。2008年度以降、全国の小学校や海外の日本人学校に累計1,600万冊以上の教材本を配布し、2020年度は、130万冊を贈呈しました。

## ● ウッドソリューション・ネットワーク

当金庫が設置した東京大学寄付研究部門の研究成果とウッドソリューション・ネットワークの活動による知識創造と智の循環を通じて、木材利用拡大の課題解

決と木材利用推進に取り組んでいます。2019年10月にウッドソリューション・ネットワークは第2クールに入り、第1クールに制作した成果物の普及定着活動の実施や時流に沿ったテーマ(森林環境譲与税の有効活用、SDGs/ESG投資から見た木材利用等)に取り組んでいます。

## ● 国産材利用拡大・木育活動

国産材の利用拡大や森林保全に資する地域の取組みのサポートとして地元木材を利用した木製品寄贈、植樹イベントへの協賛、木育活動等について費用助成を行っており、2019年度は46県域で61件、48百万円の助成を行っています。

## ● 漁協女性部・青年部活動支援事業

当金庫は、JF(漁協)女性部・青年部の活動を支援し、地域漁業の基盤維持・活性化を図るため、2013年度から、協同組合運動やライフプランサポートに関する研修会の費用等を助成しています。

また、(公財)海と渚環境美化・油濁対策機構と連携し、JF(漁協)に清掃用具を提供し、海浜清掃活動を支援しています。

## ● 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う取組み

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当金庫が基盤とする農林水産業は大きな影響を受けています。当金庫としましては、JAバンク、JFマリンバンクの一員として、農林水産業者のみなさまを対象に低利融資等の取扱いを継続するなど、円滑な金融の提供に取り組んでいます。また、農産物等の余剰在庫を解消するための販路支援など、行政や関係団体のみなさまとも連携しながら、金融面にとどまらない取組みも引き続き進めてまいります。

## ■ JAバンクの農業金融

JAバンクは、各種資金対応を通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。2020年3月末時点のJAバンクの農業関係資金残高は2兆961億円(うち農業者向け貸付金1兆3,110億円)、(株)日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は4,891億円となっています。

### 資金種類別農業資金残高

(単位:億円)

種類	2020年3月末
プロパー農業資金	16,682
農業制度資金	4,279
農業近代化資金	1,901
その他制度資金	2,378
合計	20,961

- 注1 プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。  
注2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利融資するものが該当します。  
注3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(新スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。  
注4 JAバンク(プロパー)のうち、農林中央金庫の貸出残高からは、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化支援資金等の制度資金の原資資金を除いています。

### 農業資金の受託貸付金残高

(単位:億円)

種類	2020年3月末
日本政策金融公庫資金	4,888
その他	3
合計	4,891